

今年ももう12月にはいり、寒い毎日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。自転車通勤の私は手袋とマフラーが欠かせません。

さて、愛知県美術館にはミュージアムショップが併設されています（ロビー内にあるので美術館にいらしゃったことのある方は御存知だと思いますが...）。ミュージアムショップでの買い物は、美術館めぐりのひとつの楽しみですよね。美術館ごとに商品のラインナップが全く違うので、初めて訪れる館のショップには色々と期待してしまうものです。愛知県美では、過去の展覧会カタログやポストカードなどの一般的に販売されているものの他に、当館ならではのオリジナル・グッズを取り揃えています。



その中でも「しまマフラー」（各5,670円税込）は、この季節にぴったりの人気グッズのひとつです。製造元は、群馬県桐生市の繊維メーカーさんで、ニューヨーク近代美術館（MoMA）のミュージアムショップでも同社のマフラーが販売されています（なんと4年連続の売上数量第一位だとか）。



実はこのマフラー、それぞれに愛知県美所蔵のある作品の色を参考にした配色になっています。元ネタの作品がなんだかわかりますか？（答えはこの記事の右下の「続きを読む」に隠してあります笑）。  
これまで2パターン販売してきたのですが、今週から店頭に新色が登場しました。



こちらと同じく当館所蔵作品が元ネタなので、どの作品か考えてみてください。

この他にも熊谷守一の猫を象ったキーホルダーやピンズなど、所蔵作品に関連した様々なグッズがあります。また芸術文化センターの地下二階にはアートショップ NADiff 愛知が入っており、アート関連書籍や雑貨がたくさん。「ちょっと美術館へ買い物に」というのも美術館の楽しい利用法かもしれません。



▲スタッフにマフラー付けてもらって撮影してたら、お前が全色同時につければいいじゃないかと言われたので付けてみました…。

(KS)

答え：右からピエール・ボナール《にぎやかな風景》1913年頃、グスタフ・クリムト《人生は戦いなり（黄金の騎士）》1903年、新色はパウル・クレー《回心した女の墮落》1939年でした（それぞれリンク先で画像が見られます）。

全部正解の方おめでとうございます！すごい！でも何もできませんけどね。